

令和8年度 丸岡高等学校定時制スクールプラン

業務改善のための取組

- ・在校時間月45時間以内を全教職員が達成するため、定時退勤を目指す。
- ・会議等のペーパーレス化、データ管理によるDX化の推進により、業務の効率化を目指す。
- ・会議を精選し、終了時刻を設定して会議時間の短縮を図る。
- ・業務をチームで推進する意識を醸成する。

人権教育の推進

- ・自分の大切さと共に他の人の大切さを認められる生徒育成を行う。
- ・いじめや不登校が生じないよう「未然防止」「初期対応」「自立支援」等を発達に応じて系統的・継続的に取り組む。
- ・ジェンダーに対する理解を深め、人権意識の向上を図る。
- ・伝え合い、分かり合うためのコミュニケーション能力育成を目指す。

※項目ごとに重点目標を設定する。

重点目標

※共通項目以外に、学校の独自項目を設定する。

(共通項目) 1 教育課程・学習支援	(共通項目) 2 生徒支援	(共通項目) 3 進路支援	(独自項目) 4 教育相談	(独自項目) 5 環境衛生	(独自項目) 6 読書支援
α 落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組めるよう、学習環境を整える。 β ICT機器を活用した授業を工夫して、基礎学力の充実に図る。	α 登下校時の安全を図るために交通規則の遵守を徹底させる。また遅刻回数を減少させる。 β いじめに係る情報を教職員全員で共有し、いじめられる側の視点をもって、その解消に尽力する。	関係機関との連携を深めながら、個々の生徒に対して、適切な進路支援の実現を図る。	生徒の悩みや問題行動の解決を図り、望ましい成長と自己実現への支援に努める。	清掃活動を習慣化し、環境美化を図る。また感染症予防の意識の向上を図る。	読書に親しむ習慣を身につけさせ、語彙力・読解力の向上を図る。
具体的取組 α 始業のベルとともに授業が始まり、学習に取り組めるよう努める。 【目標】：ベル着を定着する。生徒：90%以上 β ICT機器を活用した授業を工夫し、基礎学力の向上に努める。 【目標】：授業に興味を持って参加する。生徒：85%以上 ICT機器を活用した授業を工夫する。教職員：80%以上	具体的取組 α 交通規則の意義を理解させ遵守させる。ヘルメットの着用については生徒の納得と理解を促し定着を図る。時間的余裕をもった登校が可能となるよう家庭と歩調を合わせて連携・協働を密にし、学校全体の遅刻数減少を目指す。 【目標】：登下校において交通規則を遵守すると共に、余裕を持って登校することで遅刻回数の減少に努める。生徒：85%以上 β 生徒の不適切な言動に対して、速やかにその場で指導し生徒に納得させる。また定期的にアンケート、面談を実施する。 【目標】：生徒に相手の気持ちを理解し、コミュニケーションを図られるように指導を行う。教職員：100%	具体的取組 α 生徒個々の希望に応じた講演会やガイダンスを実施する。また、就労体験や企業訪問、オープンキャンパスへの参加を促し、就労意欲が高まるよう働きかける。 【目標】：自身の適性を自覚し、職業について考え、就労意欲を高める。生徒：70%以上 β ハローワーク、企業など関係機関と連携しながら、個々の生徒、保護者に応じた進路指導を行う。 【目標】：生徒に適切な指導を行う。教職員：90%	具体的取組 生徒との日常的な関わりを大切にし、家庭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、県や市町村の相談機関、学校内居場所カフェ等と連携を密にしながら、生徒が抱えている問題の早期発見やトラブルの未然防止、適切な問題解決を図る。 【目標】：学校生活や進路の悩みを相談しやすい環境や校内の支援体制を整える。生徒：75%以上	具体的取組 身の回りの整理整頓と校内の清掃活動が習慣化するように、生徒および保護者に対し適切な声かけを行う。 【目標】：日頃から身の回りの整理整頓と校内や家庭での自発的な清掃活動に取り組んでいる。自己の健康管理に取り組んでいる。生徒：80%以上	具体的取組 「ハートフルタイム」での読書活動を通して、読書に対する興味を育み、語彙力・読解力を身につけさせる。また、コミュニケーション能力の向上に繋げる。 【目標】：読書活動に真剣に取り組んでいる。生徒：85%以上